

老健だより

NEWS FROM ROKEN

第30号



明るい笑顔、大事にしたいです。

CONTENTS

- P2 新年のあいさつ
- P3 行事紹介「老健新年会」
- P4・5 ... 行事紹介「第18回老健文化祭」
- P6 行事紹介「老健運動会」
ボランティア紹介
- P7 園芸便り・栄養科だより
- P8 研究活動・トピックス

【発行】

公立八鹿病院 老人保健施設

施設長 近藤清彦 平成23年1月発行
兵庫県養父市八鹿町下網場413

TEL.(079)662-2355 FAX.(079)662-2388



新年のごあいさつ



公立八鹿病院
老人保健施設
施設長
近藤清彦

新年おめでとうございます。皆様、ご家族おそろいでよい年を迎えられたことと思います。

当老健施設も開設から十九年を迎え、新たな気持ちで取り組んでいきたいと気持ちを引きしめています。

当施設の本年の目標として認知症を持つ人のケアに引き続き力を入れていきます。これまで、なじみの環境づくり、バリエーション、センター方式、タクティールケア、園芸療法、音楽療法など、職員がいろいろ勉強し取り組んできました。

たとえば記憶力が落ちたり判断力が落ちたりしても、その人らしさを保てるようにしていくことが基本と考えています。

認知症を治すことがまだまだ困難な現在において、認知症があっても安心して暮らしていけることをめざします。

昨年から取り組みを強化したパフォーリハビリも継続して取り組み

ます。

老健施設の役割として、お預かりすることに加えて、リハビリ訓練も大切な役割です。特別養護老人ホームとの違いのひとつは、理学療法士や作業療法士が常勤で配置されていることです。デイサービスの正式名称が「通所介護」であるのに対し、老健のデイケアの正式名称は「通所リハビリテーション」となっています。この名称の違い、デイケアにおいて、機能維持や改善を目指すリハビリ訓練を強化したいと考えています。

近年、高齢者においても器械を使用した運動(マシーントレーニング)の有用性が言われています。また、当院の回復期リハビリテーション病棟での実績で、八十代、九十代の方でも機能回復が可能となることがわかりました。これまで、高齢化による筋力低下と思われていたものの多くが、実は、使われないための筋力低下だったのです。無理の

ない範囲で、積極的に運動することが何歳になっても重要と考えています。

今年の新たな取り組みとして、心身障害児者のショートステイ事業を四月から開始します。これは、県からモデル事業として依頼があったもので、これまで但馬内で受け入れ先がなかった方々のショートステイを行います。

高齢者のみでなく若年者へも対応していくことになり当老健施設としても大きな変革ですが、公立八鹿病院組合として若年者から高齢者までの福祉活動を行っていく一翼を老健施設も担っていきます。



【表紙・P2写真】
提供：家元正志様



行 事 紹 介

平成23年1月19日 新年会



光延会の皆様、いつもありがとうございます。



見事な舞に皆さんうっとり。



恒例となりつつある二人羽織り！？職員も体を張って頑張りました。



新しい年を祝うという事で入所者の方と職員一緒に会食をしました。



第18回 老健 文化祭

「笑い・笑い・笑いの
文化祭でした」

第18回文化祭実行委員長
田中成之



11月10日、大爆笑で幕を開けた「第18回 老健文化祭」。芸能祭を皮切りに、11月17日のお茶会まで、老健は熱気に包まれました。

今年のテーマは「絆」。近年、伝達手段・コミュニケーション手段が発達・多様化してきている一方、人と人の繋がりは希薄になってきているような気がします。老健では、本来のアナログ的な人と人の繋がりを、ふれあいをこれからも大切にしていきたいという思いから、「絆」を文化祭テーマとしました。

芸能祭の劇では、皆様お馴染みの「桃太郎」を吉本新喜劇風にアレンジした作品を披露させていただきました。会場は大爆笑となりました。特におじいさんおばあさんの掛け合

い漫才風の演技は最高でしたね。

また、近藤施設長のオートハーブによる演奏に歌声、お茶会では、時間がゆったりと流れているような癒しのひとときを過ごしていただきました。さらに、日頃からこつこつと取り組まれた展示作品の数々、芸能祭でのハンドベル演奏では、皆様、日頃の成果を大いに発揮され、見学に来られた方々からも、高い評価をいただきました。

「笑い」「癒し」「披露」などなど、たくさん要素が盛り込まれた大変充実した内容となり、「絆」というと大げさですが、人と人とのつながりを深める場になったのではないかと思います。ありがとうございました。



展示作品



個性豊かで見事な作品の数々。こつこつと取り組まれている皆様の姿が目に見えます。

平成22年 11月10日 芸能祭

演奏あり、お芝居ありと、なんばグランド花月と錯覚するほど、笑いの絶えない芸能祭となりました。



平成22年 11月17日 お茶会

着物姿の女性スタッフがおもてなし(中にはホスト風の男性スタッフも...) 雰囲気も作法も本格的な老健自慢のお茶会です。ほっと心が癒されます。



こちらも
盛り上がりました

平成22年10月20日 老健運動会

2階vs3階。どちらの
組も一致団結して盛
り上がりました。
満面の笑顔で運動会
を終えることが出来
ました。



▲パン食い競争。上手くパンがとれてニッコリ(^-^)

ボランティア紹介

日頃大変お世話になっています皆様のご紹介をさせていただきます。



藤田たき子様

岩上加代子様

田公みさ子様

田中純子様

吉井三恵子様

二代目
嶋田光延様

高岡昌子様

森木やす子様

広瀬ますあ様

森木ちづる様

毎年新年会で、
すばらしい舞を披露していただきます。

八鹿老健 園芸便り

2011

老健園芸療法委員会



このへんに植えてみようかなあ～



どれどれ



お見事！

葉ボタンを入所者の方達と寄せ植えしてみました。



一生懸命植えました

栄養科より「おせちについて」

お正月を彩るおせち料理。もともとは季節の変わり目とされる「節」に、神に供え物をし、宴を開く宮中行事で用いられた料理。昔の人々はおせち料理に、豊作や家内安全、子孫繁栄を願う意味をこめ、現在に伝わっています。



<田作り>

田畑の高級肥料として、いわしが使われていたことから豊作を願って。



<数の子>

卵の数が多いことから、子孫繁栄を願って。



<黒豆>

黒には魔よけの力があるとされ、また、まめに働き(勤勉)、まめに暮らせる(健康)ことを願って。



<紅白かまぼこ>

かまぼこは「日の出」を象徴するものとし、紅はめでたさと慶びを、白は神聖を表しています。



<ごぼう>

細く長く地中にしっかり根を張るごぼうに、細く長く幸せであることを願って。

重箱に詰めるのは、めでたさを「重ねる」という意味の、縁起をかついでいます。よい一年となるよう、縁起のよいおせち料理を味わいましょう。

栄養科一同



研究活動

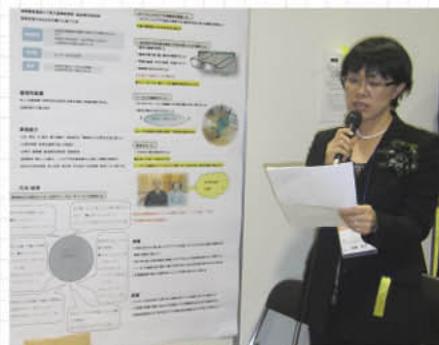
老健では、毎年グループで研究しまとめたものを各々の学会で発表し自己研鑽に努めています。

平成22年10月23日・24日 第11回認知症ケア学会大会 in 神戸

今年は2題のポスター発表をしました。認知症ケア専門士として実践でも取り組むべき課題がみつかりました。

[ポスター発表 2題]

- 「認知症利用者のところに寄り添うケアをめざして
～日記が書けるようになったA氏～」
【演者】看護師 長瀬和子
- 「公立八鹿病院老人保健施設における認知症ケア専門士の役割と課題」
【演者】介護福祉士 本荘直美



▲ポスター発表する長瀬看護師



▲ポスター発表する本荘介護福祉士

平成22年11月10日～12日 第21回全国介護老人保健施設大会 in 岡山

さまざまなジャンルの発表があり大会に参加した職員も刺激を受けて帰ってきました。

[演題発表 2題]

- 「タクティルケア効果の検討～触れることの大切さ～」
【演者】看護師 石田逸子
- 「S氏の想いを知りたくて…～センター方式を活用して～」
【演者】介護福祉士 枚田幸枝



トピックス

平成22年12月9日 八鹿小学校4年生福祉体験に来所！



リコーダー演奏、ちぎり絵、レクリエーション等利用者の皆さんとの交流で表情もにっこり。心温まる一時を過ごす事が出来ました。



こんにちは～！！



車椅子をおす顔がちよっぴり緊張